

医動物・種類同定検査結果（令和5年7月～9月）

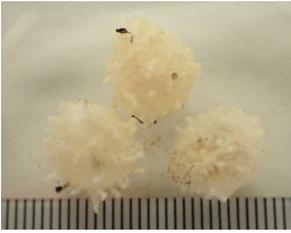
医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和5年7月から9月の3か月間の種類同定検査報告件数は、その他の節足動物4件(クモ目4件)、その他1件(クモ目の卵のう)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
家の椅子フレーム部分に虫がいた。 〈6月〉		ヒラタグモ (クモ目)	家の周囲や壁などの隅に白色円盤状の巣を作る。巣の周囲には受信糸をひき、それに触れた昆虫を捕まえる。夜間活動性で1年中出現する。日本に広く分布し、人への刺咬報告はない。
会社敷地内でクモを発見した。 〈7月〉		セアカゴケグモ (クモ目)	基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。
大黒ふ頭の路上にある花壇でクモを発見した。 〈9月〉			体色は黒く、背面中央部に赤い縦長の斑紋、腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。
	成虫、茶褐色 腹部に斑紋あり、約8mm		
	成虫、黒色、背面は赤い斑紋、腹面に赤斑紋(砂時計型)あり、約10mm		

相談内容・発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
<p>施設敷地内でクモを発見した。 (8月)</p>	 <p>成虫(左)約 10mm、幼虫(右)約6mm、褐色、腹面に赤斑紋(砂時計型)あり</p>  <p>卵のう、金平糖状、約10mm</p>	<p>ハイイロゴケグモ (クモ目)</p>	<p>基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。 体は褐色、灰色または黒色で個体差がある。腹部背面の正中線上に斑紋がある。腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。卵のうは、ハイイロゴケグモ特有の金平糖状の形をしている。全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。</p>
<p>商業施設内でクモの卵のうの様なものを発見した。 (9月)</p>	 <p>白色、綿状、約6~8mm</p>	<p>クモ目の卵のう (クモ目)</p>	<p>クモは複数の卵をまとめて産み、たくさんの糸で作った繭で卵を包み込み、卵のうを作る。</p>

横浜市内で確認されたゴケグモ属については、以下のウェブページに掲載されています。

(※) 【参考】ゴケグモに注意

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kokyo/gaichu/seakagokegumo.html>

(横浜市医療局ウェブページ)

【 微生物検査研究課 医動物担当 】